



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
1957

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 中村 哲朗
幹 事 森信 秀樹

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS
「ロータリーの未来は
あなたの手の中に」

本年度会長テーマ
「ロータリーの心で周囲を包もう」

「職業奉仕・米山月間」

2009年 10月 29日 第1933回例会

◆ 会長時間 ◆

中村(哲)会長



先週の土曜日24日に新世代・インターアクト委員会の担当で「新世代のためのフォーラム」が開催されました。岡田担当理事、柴田委員長、瀬尾副委員長をはじめ委員会メンバー全員で対応して頂き誠にありがとうございました。また参加して頂きました会員ならびにご家族の皆様へも心より感謝申し上げます。10月26日の中国新聞夕刊に記事が掲載されましたので、ご覧になられた方々もおられると思います。

さて、11月15日(日)に国際交流委員会の担当で「第16回国際親善宮島ウォーキング」が開催されます。既にご案内が出ておりますが、多数のご出席をお願いいたします。

平川会員へ ベネファクター認証状と襟ピンがロータリー財団より届いております。本日ご欠席ですが、ご披露いたします。

本日のプログラムは、職業奉仕委員会の担当でクラブフォーラムとなっております。内容の深い議論をして頂くことを期待しております。

以上

ロータリー財団 ベネファクター認証状
及び襟ピンの伝達 平川 實 会員

● 会務報告 森信幹事

※11月12日(木) 例会場変更について

ANAクラウンプラザホテル広島のご都合により、
例会場が広島東急インに変更になります。

※本日の例会はクラブフォーラムのため30分延長
となっております。

※例会フォーラム終了後、長期ビジョン委員会が
4F「松の間」で開催されます。委員の方は必
ず出席して下さい。

● 委員会報告

出席報告 村上副委員長

本 日 (10月29日・木曜日)

会員数	85名	出席者	64名
欠席者	21名	ご来客	1名
ご来賓	0名	ゲスト	0名
		計	65名

前々回(10月15日・木曜日)

出席率 98.81%

※ 職業分類委員会 刀禰副委員長
職業分類の変更について

8月に実施いたしました職業分類に関する調査の結果、下記の会員について職業分類の再検討を行い、理事会においてその変更が承認されました。

つきましては、お手元の「会員手帳」及び「これから」を修正いただきますようお願いいたします。

会員氏名	現在の職業分類名	変更職業分類名
木本 弘三	34運輸 タクシー業	34運輸 バス・タクシー業(新設)
中村 哲朗	13食品工業 水産物加工	13食品工業 液体調味料製造(新設)
中丸 茂	25紙工業 紙製品販売	30不動産業 事業用土地建物賃貸業(新設)
刀棚 明	24事務機器 事務機器販売	4ビジネスサービス コンピュータ機器卸売

※これに伴い、広島西ロータリークラブ職業分類数は、充填数75/分類数138となります。

※新世代・インターアクト委員会 柴田委員長 新世代のためのフォーラム報告

10月24日(土)、佐伯区民文化センターに於いて、佐伯地区青少年を育てる会との共同で「青少年のためのフォーラム」を開催する事が出来ました。課題の来場者の動員を、可能な限りを尽くしたつもりでしたが、「動員はなかなか難しい」と思わざるを得ない結果となりました。今回の準備及び実施で得た事は、必ず来年度の委員会に引き継ぎます様に資料をまとめておきたいと思えます。西RCメンバーの皆さんには大変お世話になり感謝しております。また、紫友会の関係者の方には同時開催となりご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。



※国際交流委員会 原委員長

来る11月15日(日) I F W F R国際親善宮島ウオーキングを開催します。

本年は弥山登山コース以外にも歴史散策コースとして、のんびり散歩できるコースも用意しております。

多くの方のご参加をお待ちしております。

●同好会報告

紫友会 荒川世話人

10月24日(土)、芸南カントリークラブにて、10月例会が行われました。成績は以下の通りです。

優 勝	村 上(昇) 君	トータル 89	ネット 70	アウト 49	イン 40
準優勝	齊藤 君	90	70		
第三位	金本 君	84	71		
シニア優勝	園尾 君				
ベストグロス	上田 君	76			
B. B.	梶川 君				

ハンディ改正

村 上 君	19⇒13
齊藤 君	20⇒16
金本 君	13⇒12

(アンダー)

次回例会は、11月14日(土)に芸南カントリークラブにて西南、廿日市、西、3RC合同例会を行います。

紫雀会 小橋世話人

去る10月15日に行なわれました紫雀会10月例会の報告をいたします。

当日は、全国共通の敬老の日が過ぎたばかりで、わが紫雀会も敬老の日になみベテランの皆様のパワーが炸裂し、大いに盛り上がりました。映えある優勝は、熟練の腕前をいかんなく披露された園尾さんでした。本当に久しぶりの優勝おめでとうございます。

続いて準優勝は、これまた円熟味のあるベテランの刀禰さんでした。第3位の岡田さんは、敬老の日ですので、若年寄というあだ名がつきました。

次回ですが、例会場の小町屋が、今月いっぱい閉店のため、庚午クラブに戻ります。

第3木曜日の11月19日に予定しております。

ちょうどボジョレヌーボーの解禁日ですので、赤ワインを持ち込んでの例会となります。

多数の御参加を宜しくお願い申し上げます。



奥様お誕生日おめでとうございます。

(4名)

古屋君	高音夫人 (18日)
刀禰君	和子夫人 (20日)
森脇君	芳子夫人 (22日)
成瀬君	恵 夫人 (25日)

● スマイルボックス SAA 前橋委員

梶川君 (自主申告)

10月2日付けにて財団法人日本医療機能評価機構より「梶川病院が日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成していることを証する」として認定証(5年ごと更新。当院は過去2回更新)を授与されました。(大枚)

中村会長、岡田君、柴田君

10月26日中国新聞夕刊に、新世代のためのフォーラムの件が記載されておりました。

子供の健全育成を講演いただいた湧永製菓ハンドボール部の元主将長沢さんの写真も載り、西RC40周年を迎えた事も同時に記載してありま

した。

有意義なフォーラムを行うと同時に西RCのPRにもなったように思います。

ここまでの準備が大変だったと思います。ご苦労を労りまして、出宝よろしく申し上げます。

教蓮君

勸広島市スポーツ協会発行のウイングより～特別会員を訪ねて～のコーナーに記事がありました。

“料亭の味をそのままに”を合言葉にお客さまにご満足いただける食事サービスをと題してコメントが載っておりました。

ゴルフに野球にスポーツ大好きの教蓮さん、これからも益々のご健勝を祈念します。

紫友会

10月24日(土)、芸南カントリークラブにて、10月例会が行われました。成績は以下の通りです。

優 勝 村上(昇)君(ダブル)

準優勝 斉藤君

第三位 金本君

シニア優勝 園尾君

ベストグロス 上田君

B. B. 梶川君

紫雀会

10月19日小町屋で10月例会行われました。成績は以下の通りです。

優 勝 園尾君(ダブル)

準優勝 刀禰君

第3位 岡田君

~~~~~

#### ■ クラブフォーラム

##### ■ 基調スピーチ

### ロータリーは点ではなく線で とらえるとわかりやすい



職業奉仕委員会 委員長  
諏訪 昭浩 会員

本日はお忙しい中、例会延長のクラブフォーラムにご参加いただきありがとうございます。職業奉仕について少しでも皆様のご理解の助けになればと思い、まず少しお話をさせていただ

きます。

その他望ましい諸点を振興すること

職業奉仕を含めロータリーの奉仕はわかりにくいという言葉が聴くことがあります。私もそう思ったことがあります。そこで、ロータリーを理解するためには、「点ではなく線でとらえる」ことをお勧めします。

本日用意しました資料、「15分でわかる職業奉仕」は、職業奉仕を「線」でとらえたつもりで書いたものです。すなわち、いつ何時誰が何をしたとか、何を書いたとか、何が決まったとか、そういう、一つ一つの事柄を、つながりのない「点」でとらえるのではなく、始まりから現在に至るまでを、つながりのある「線」でとらえるわけです。そうすると、なぜそうなったのか、なぜその必要があったのかが理解しやすくなると思うのです。

今日は、職業奉仕の始まりから現在に至るまでの線をたどってみます。この線を覚えておいていただくと、新しい知識に出会ったとき、つまり、これは「点」なわけですが、それを「線」の上に置いて整理でき、覚えやすいしわかりやすいのです。今日は時間の関係で、線上の点についてすべて触れることはできませんが、今日ご説明する「線」の上には、たとえばRI誕生の理由など、たくさんの「点」が実は存在しています。是非、この「線」を意識していただき、これからのロータリー情報吸収に役立てていただければと思います。

## 1. 初期ロータリーは互恵主義の社交クラブであった（1905）

1906年1月に制定されたシカゴクラブの定款を見ると、発足当初(1905)のロータリー運動は、「親睦の充実」と「会員間の相互扶助による事業上の利益拡大」を目的としていたことがわかる。会員相互の取引を義務付け、原価取引を原則としていたため、入会すれば儲かった。

「利己」が目的であった時代。

第1条 会員の業務上の利益を振興すること

第2条 性質として社交クラブに伴う親睦、

## 2. 「社会のためにならないなら入会しない」

ードナルド・カーター事件（1906）

「自分たちだけでよいのか？ 職業を通して社会に貢献することこそ自分の存在意義だ。だからクラブには参加しない。」（ドナルド・カーター）

カーターの投じた一石がクラブを動かす。クラブ定款に第3条が付加された。ロータリーにおける「奉仕」(人の役に立つこと)という理念の萌芽。「利他」という考え方の目覚め。ただ、その理念は漠然とした世間一般でいう社会奉仕(チャリティー)であり理論的に未熟であった。

(シカゴ市公衆便所設置、新聞売りの少年の話など、ただ、そこにある「いいこと」を漠然と行うだけで、長期的に安定した活動となるのに欠かせない理論的位置づけが成されていなかった。)ロータリーでいう「奉仕理念」が確立するのはもっと後になる。

第3条 シカゴ市の利益を推進し、その市民の中に市民としての誇りと忠誠心を植えつけること

## 3. （職業）奉仕理論の萌芽と確立ーアーサー・

フレデリック・シェルドン（1908）

ミシガン大学の経営学（販売学）の大家であった彼は、ミシガン大学で得た経営理論をロータリーに持ち込んだ。

「物流機能の主たる担い手である商人のやり方次第で後世にぬぐい去ることができない社会的禍根を残す危険がある。その解決策として、商人の経営の場に『利己と利他の調和』を中核とする哲学理論を導入すべきである。」

『利己と利他の調和』という考え方に基づいて日常的に事業活動を行えば、努力の結果として良質な利潤が得られ、地域社会から尊敬と信

頼を受け、誇りを持って商的文化を後世に伝えることができる。そして、自分の企業の発展と地域社会の発展が同時に達成できる。」

商人には利潤が必要だが、商人が手段を選ばず利潤を追求すれば、社会は大変醜いものになる。商取引は、売り手と買い手双方の満足が達成されるものであるべきであり、長期的に安定した利潤を上げるためには、両者の間に信頼関係が築かれていなければならない。信頼関係に基づいて商取引を行い、商人は利潤を得、同時に顧客も満足のいく商品を得、ひいては自己の企業の発展と地域社会の開発が調和されるという状態、すなわち、「利己と利他の調和」を達成できるように経営が行われなければならない。

こうしてロータリーの奉仕理念は、まず「職業奉仕」として確立し、ロータリーは他の団体では果たせない独自の社会的使命を負うようになった。（ただし、「職業奉仕」という用語が公式なものになったのは1927年。）そしてシェルドンの言葉がロータリーの標語“**He Profits Most Who Serves Best**”（最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる）となった（1911年に非公式のモットーとなり、1950年に公式の標語となった。もうひとつの標語は“**Service Above Self**”）。

「職業奉仕」の理念は1912年の「ロータリーの綱領」において明文化され、現在まで引き継がれているが、「ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成」という部分からわかるように、「職業奉仕」はロータリーの根幹を成すものであり、職業奉仕団体であるということがロータリーの最大の特徴である。

#### ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにあります。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

#### 4. 奉仕理念の拡大（職業奉仕をより良く理解するための知識）

シェルドンによって確立した「職業奉仕」の理念はロータリーの奉仕理念として定着していったが、一方で、一般的にチャリティーとかボランティアと呼ばれる「一般的社会奉仕」については、実践されてはいたものの、それをロータリーで行うことについての理論的位置づけが欠落していたため、そのあり方を巡って大論争が起きた。ロータリーの奉仕はいかにあるべきか？

- (1) 会員が例会で会得した「奉仕の心」（利己と利他の調和を達成しようとする心）を自分の職業で実践するという職業奉仕を通し、その考えを業界全体に広げモラル向上を推進することがすべての人の幸福につながる。職業奉仕以外の奉仕ニーズがあれば、ロータリークラブが実践母体となるのではなく、クラブはそのニーズに対する世間の関心が盛り上がるような触媒の機能を果たせばよく、どうしても社会奉仕をするのであれば、会員個人が職業上得られた利益から個人的に行えばよい。

(2) 「社会奉仕」をクラブ主導でどんどんやろう。困った人を助けよう。

この論争は「決議 23-34」(1923)によって終止符が打たれる。この決議によって、金銭的・団体的社会奉仕が一定の条件下でロータリーの正規な奉仕活動として認められた。「決議 23-34」の題名は「社会奉仕活動に関する方針」となっているが、この決議は社会奉仕にとどまらずロータリーの奉仕全般に関する方針であり大変重要なドキュメントである。(「社会奉仕」の指針は「決議 92-286」(1992)である。決議 23-34 と共に使用されるという但し書きがあるが、個人奉仕と共にクラブの団体奉仕を推奨し、RIが奉仕の実践例を積極的に提案することが明記されている。)

## 5. 「道徳律」、「職業宣言」と「四つのテスト」

「職業奉仕」の指針となるべき職業上の倫理観がいくつか成文化されている。

「ロータリー倫理訓 (一般に『道徳律』と呼ばれる)」(1915)

内容の厳しさと宗教的であるとされる表現方法ゆえに批判され、1980年に削除されたが、職業奉仕を理解する上で今でも一読の価値がある。(添付資料3)

「職業宣言」(1989)

「道徳律」の内容は職業奉仕の真髄をよく表すとして復活を望む声が高くなり、道徳律をベースに作成されたもの。ロータリアンの職業奉仕上、最も重要な心構え。(添付資料4)

「四つのテスト」(1932)

シカゴクラブのハーバード・テイラーが倒産の危機に瀕していた会社再建を行った際に提唱した道徳観。1943年にロータリーの職業奉仕プログラムの構成要素となったが、職業奉仕にとどまらず四大奉仕すべてに不可欠の要素として認識されている。「道徳律」や「職業宣言」の本質が、ロータリアンだけで

なく一般の職業人にも理解できる形に凝縮されている。

## ■フォーラム

「職業宣言」が会員事業所においてどのように実践されているか、又、各々がどのように意識しているのか話し合いました。

